

令和7年度第5回日本技術士会水産部会定例会・講演会 「技術士の普及啓発の取組み－東海大学望星技術士会の活動と未来－」 報 告

吉田 倫夫

1. 日時

令和8年1月10日（土）14：30～16：30

2. 場所

機械振興会館6階（東京都港区芝公園3-5-8）
会議室6-67

3. 参加者

日本技術士会会員：44名（会場；15名、Web（遠隔個人）；25名、中国本部；8名、鳥取県支部；1名、山口県支部；2名）
うち望星技術士会：3名
・綿貫 啓 副会長代表【講演者】
・久一 博世（Web参加）
・吉田 倫夫（会場参加）

4. 講演会

本講演は、日本技術士会水産部会の令和7年度第5回定例会・講演会にて、本会の綿貫副会長代表が、「技術士の普及啓発の取組み 東海大学望星技術士会の活動と未来」と題して、講演したものである。

講演内容は以下のとおりである。

（1）望星技術士会の設立

- ・望星の由来
- ・技術士の概念
- ・望星技術士会の設立

（2）望星技術士会の活動方針

- ・会員へのサービス
- ・学生へのサービス

（3）組織の紹介

- ・会長、副会長、事務局
- ・委員会

（4）会員数の動向

- ・10年間の軌跡（50名から272名へ）
- ・一般会員の特徴
- ・教職員会員（現在27名）

（5）これまでの活動の概要

- ・会員イベント：技術者間の連携、講演会開催
- ・大学イベント：出前授業

（6）参考図書の寄贈

- ・各学科に参考図書を毎年贈呈

（7）情報発信（HP、FB、会報、会員紹介集他）

- ・ホームページ
- ・Facebook
- ・大学HPにも紹介
- ・年1回の会報発行（当会HPに公開）
- ・会員紹介集（所属企業、独立技術士の企業紹介、教職員会員の研究紹介）

（8）出前授業の例

- ・実施学科：土木工学科、建築学科、海洋理工学科、海洋生物科学科、機械システム工学科
- ・出前授業（水産部門）の例：札幌キャンパス生物学部海洋生物科学科

（9）出前授業のアンケート結果と成果

- ・技術士の認知度
- ・取得意欲
- ・成果

（10）今後の課題

- ・短期目標：第一次試験合格者30人以上
- ・長期目標：第二次試験受験者の育成



写真1 講演する綿貫副会長代表

講演後の質疑応答では、下記について質問があり、さらに議論を深めることができた。

- ・会員の集め方（技術士資格を有する卒業生）
- ・学生の専門分野
- ・教員の先生の理解
- ・第一次試験合格者に対する第二次試験受験に向けてのアプローチ



写真2 会場の様子

5. 参加者雑感

(1) 講演者雑感／綿貫啓

日本技術士会水産部会は会員数が望星技術士会より少なく、特に地方では活動が活発とは言えない状況にあるようでした。そのため、分野横断で活発に活動している望星技術士会の取組を参考にしたいとの意図から、今回の講演依頼があった模様です。

望星技術士会は専門分野の異なる会員で構成されていますが、今年度のシンポジウムでは医学・工学・技術士が「生命を守る」という共通の視点で集まり、有意義な取組が行われました。水産分野も食品・漁業・工学など幅広い分野を含むことから、このような共通視点での活動は参考になつたようです。

講演後の懇親会では「どのように会員を増やしているのか」という質問が多くあり、会員募集に積極的に取り組む役員の存在が、現在の会員数に繋がっていることを伝えました。

(2) 参加者雑感／久一博世

私はweb参加で聴講しました。他大学技術士会の方に知っていただく良い機会になりました。引き続き注目されるよう、在学中の技術士第一次試験合格者数が大学別で上位になるよう支援してい

きたいと思いました。後日、参加できなかった会員用に録画動画を配信して頂けると有り難いです。

(3) 参加者雑感／吉田倫夫

講演は、望星の由来や技術士の理念に始まり、本会の活動全般について紹介いただきました。技術士資格の普及、他大学の技術士会の活動に関する質問があり、関心の高さが伺われました。懇親会では、さらに本音の議論が続き、有意義な時間を過ごすことができました。

会場の機械振興会館は、東京タワーの目の前に位置し、エレベーターホールには正月の飾付が置かれていました。



写真3 正月の飾付



写真4 東京タワー

6. 望星技術士会FB (FaceBook) より

2026年1月10日、日本技術士会の水産部会のご依頼により、東京タワー隣の機械振興会館にて「技術士の普及啓発の取組み」をテーマに講演を行いました（協力：望星技術士会）。

講演では、設立10周年を迎える東海大学望星技術士会の活動を紹介し、大学OBを中心に会員が272名まで増加していることを報告しました。また、この5年間で札幌・湘南・静岡キャンパスにおいて技術士に関する出前授業を継続的に実施し、学生に資格取得の意義が伝わり始め、一次試験合格者が出てきている状況なども説明しました。

会場からは、会員集めの工夫、理学系学生とのギャップ、JABEE再開の可能性、海外制度との比較、出前授業の位置づけなど多くの質問が寄せられ、活発な意見交換の場となりました。技術士の裾野拡大に向けた取組みとして、水産部会の今後の活動の参考になれば幸いです。

以上